

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年8月6日

【四半期会計期間】 第92期第1四半期（自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日）

【会社名】 アイシン精機株式会社

【英訳名】 AISIN SEIKI CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 藤森 文雄

【本店の所在の場所】 愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地

【電話番号】 刈谷(0566)24 8265番

【事務連絡者氏名】 経理部長 間宮 友廣

【最寄りの連絡場所】 愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地

【電話番号】 刈谷(0566)24 8265番

【事務連絡者氏名】 経理部長 間宮 友廣

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)  
株式会社名古屋証券取引所  
(名古屋市中区栄3丁目8番20号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第91期 第1四半期 連結累計期間	第92期 第1四半期 連結累計期間	第91期
会計期間	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
売上高 (百万円)	699,586	707,028	2,822,215
経常利益 (百万円)	54,005	45,603	189,462
四半期(当期)純利益 (百万円)	28,987	23,851	90,089
四半期包括利益 又は包括利益 (百万円)	83,514	31,436	185,228
純資産額 (百万円)	1,234,351	1,336,643	1,328,503
総資産額 (百万円)	2,415,514	2,581,784	2,587,623
1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	102.84	84.53	319.48
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	102.58	84.33	318.51
自己資本比率 (%)	38.7	39.0	38.6

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成していますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については、記載していません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれていません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当企業グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間の自動車業界における状況は、国内においては消費税増税前の駆け込み需要の反動などによる落ち込みがあったものの、海外においては好調な北米や中国市場が下支えとなり、世界市場全体としては堅調に推移しました。

このような状況の中、当企業グループは、2012年4月に発行した「AISIN Group VISION 2020」の実現に向けて、新商品の開発と拡販に引き続き努めるとともに、グローバルな事業基盤の構築に取り組みました。

当第1四半期連結累計期間の売上高については、前年同四半期（6,995億円）に比べ1.1%増の7,070億円となりました。

利益については、収益体質強化活動などに取り組んだものの、研究開発費の増加などにより、営業利益は前年同四半期（443億円）に比べ13.1%減の384億円、経常利益は前年同四半期（540億円）に比べ15.6%減の456億円、四半期純利益は前年同四半期（289億円）に比べ17.7%減の238億円となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりです。

#### アイシン精機グループ

売上高については、前年同四半期（3,305億円）に比べ1.0%増の3,338億円となりました。  
営業利益は前年同四半期（143億円）に比べ24.7%減の108億円となりました。

#### アイシン高丘グループ

売上高については、前年同四半期（623億円）に比べ0.6%減の620億円となりました。営業利益は前年同四半期（20億円）に比べ15.5%減の17億円となりました。

#### アイシン・エイ・ダブリュグループ

売上高については、前年同四半期（2,609億円）に比べ2.8%増の2,681億円となりました。  
営業利益は前年同四半期（206億円）に比べ0.4%減の205億円となりました。

#### アドヴィックスグループ

売上高については、前年同四半期（1,282億円）に比べ0.1%減の1,281億円となりました。  
営業利益は前年同四半期（49億円）に比べ26.1%減の36億円となりました。

## その他

売上高については、前年同四半期（476億円）に比べ6.9%減の443億円となりました。営業利益は前年同四半期（22億円）に比べ50.0%減の11億円となりました。

### (2) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における当企業グループの研究開発費は、総額376億円です。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当企業グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	700,000,000
計	700,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成26年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年8月6日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	294,674,634	294,674,634	東京・名古屋各証券取引所市場 第一部	単元株式数 100株
計	294,674,634	294,674,634		

(注) 提出日現在の発行数には、平成26年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれていません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成26年4月1日～ 平成26年6月30日		294,674		45,049		62,926

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしています。

【発行済株式】

平成26年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 12,525,400		
完全議決権株式(その他)	普通株式 282,015,600	2,820,156	
単元未満株式	普通株式 133,634		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	294,674,634		
総株主の議決権		2,820,156	

【自己株式等】

平成26年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) アイシン精機(株)	愛知県刈谷市朝日町2丁目 1番地	12,525,400		12,525,400	4.25
計		12,525,400		12,525,400	4.25

(注) 自己保有株式は、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく取締役会決議による自己株式の取得、会社法第163条の規定に基づく子会社からの自己株式の取得および単元未満株式の買取請求によるものです。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しています。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間(平成26年4月1日から平成26年6月30日まで)および当第1四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人により四半期レビューを受けています。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	262,398	262,139
受取手形及び売掛金	387,595	378,769
有価証券	175,768	153,796
商品及び製品	81,476	80,558
仕掛品	54,350	54,966
原材料及び貯蔵品	61,785	60,564
その他	125,864	142,764
貸倒引当金	933	947
<b>流動資産合計</b>	<b>1,148,306</b>	<b>1,132,612</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	272,083	268,200
機械装置及び運搬具（純額）	361,384	365,855
工具、器具及び備品（純額）	37,347	36,779
土地	119,964	120,473
リース資産（純額）	1,134	1,040
建設仮勘定	78,579	72,162
<b>有形固定資産合計</b>	<b>870,492</b>	<b>864,512</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>25,252</b>	<b>24,284</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	458,324	475,339
その他	85,714	85,595
貸倒引当金	467	559
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>543,572</b>	<b>560,375</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>1,439,317</b>	<b>1,449,172</b>
<b>資産合計</b>	<b>2,587,623</b>	<b>2,581,784</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	351,176	345,429
短期借入金	79,058	62,155
1年内償還予定の社債	10,034	10,034
引当金	21,425	20,041
その他	301,893	306,146
流動負債合計	763,587	743,808
固定負債		
社債	70,118	70,101
長期借入金	235,838	231,445
引当金	6,193	4,994
退職給付に係る負債	109,194	111,587
その他	74,187	83,203
固定負債合計	495,532	501,332
負債合計	1,259,120	1,245,140
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	45,049	45,049
資本剰余金	59,504	59,531
利益剰余金	777,154	783,571
自己株式	19,718	19,678
株主資本合計	861,990	868,474
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	129,943	137,095
繰延ヘッジ損益	999	939
為替換算調整勘定	5,642	361
退職給付に係る調整累計額	2,963	2,821
その他の包括利益累計額合計	137,550	139,338
新株予約権	2,384	2,364
少数株主持分	326,578	326,465
純資産合計	1,328,503	1,336,643
負債純資産合計	2,587,623	2,581,784

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	699,586	707,028
売上原価	599,034	610,602
売上総利益	100,551	96,425
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	15,962	16,836
その他	40,280	41,090
販売費及び一般管理費合計	56,242	57,927
営業利益	44,308	38,498
営業外収益		
受取利息	316	417
受取配当金	2,879	5,104
持分法による投資利益	2,892	3,243
その他	6,292	1,994
営業外収益合計	12,381	10,759
営業外費用		
支払利息	1,385	1,469
その他	1,298	2,184
営業外費用合計	2,683	3,654
経常利益	54,005	45,603
税金等調整前四半期純利益	54,005	45,603
法人税等	12,366	13,384
少数株主損益調整前四半期純利益	41,638	32,219
少数株主利益	12,651	8,368
四半期純利益	28,987	23,851

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	41,638	32,219
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,036	7,222
繰延ヘッジ損益	187	58
為替換算調整勘定	9,985	7,124
退職給付に係る調整額	-	246
持分法適用会社に対する持分相当額	1,666	693
その他の包括利益合計	41,876	782
四半期包括利益	83,514	31,436
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	68,875	25,640
少数株主に係る四半期包括利益	14,639	5,796

## 【注記事項】

### (会計方針の変更)

#### 退職給付に関する会計基準等の適用

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)および「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間から適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を主として給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の算定方法を変更しています。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金および少数株主持分に加減しています。

これにより連結財務諸表に与える影響は軽微です。

### (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
減価償却費	34,513百万円	36,199百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月18日 定時株主総会	普通株式	14,092	50	平成25年3月31日	平成25年6月19日	利益剰余金

(2) 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間末後となるもの  
 該当事項はありません。

2 株主資本の金額の著しい変動

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成25年4月1日 残高 (百万円)	45,049	59,193	708,039	20,175	792,107
四半期連結累計期間中の変動額					
連結子会社の決算期変更に伴う 増減			2,986		2,986
剰余金の配当			14,092		14,092
四半期純利益			28,987		28,987
自己株式の取得				2	2
自己株式の処分		22		36	59
四半期連結累計期間中の変動額合計 (百万円)		22	17,881	34	17,938
平成25年6月30日 残高 (百万円)	45,049	59,216	725,920	20,140	810,046

当第1四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日）

1 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月18日 定時株主総会	普通株式	16,928	60	平成26年3月31日	平成26年6月19日	利益剰余金

(2) 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間末後となるもの  
 該当事項はありません。

2 株主資本の金額の著しい変動

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成26年4月1日 残高 (百万円)	45,049	59,504	777,154	19,718	861,990
会計方針の変更による累積的影響額			505		505
会計方針の変更を反映した当期首残高	45,049	59,504	776,649	19,718	861,485
四半期連結累計期間中の変動額					
剰余金の配当			16,928		16,928
四半期純利益			23,851		23,851
自己株式の取得				1	1
自己株式の処分		26		41	68
四半期連結累計期間中の変動額合計 (百万円)		26	6,922	39	6,988
平成26年6月30日 残高 (百万円)	45,049	59,531	783,571	19,678	868,474

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	アイシン精機 グループ	アイシン高丘 グループ	アイシン・ エイ・ダブリュ グループ	アドヴィックス グループ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	252,615	39,192	255,010	119,522	666,340	33,245	699,586
セグメント間の 内部売上高	77,901	23,192	5,897	8,705	115,697	14,428	130,126
計	330,517	62,385	260,907	128,227	782,038	47,674	829,712
セグメント利益	14,389	2,094	20,615	4,972	42,072	2,229	44,301

(注)「その他」の区分には、各報告セグメントに属さない自動車部品事業が含まれています。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	42,072
「その他」の区分の利益	2,229
セグメント間取引消去	51
その他の調整額	45
四半期連結損益計算書の営業利益	44,308

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	アイシン精機 グループ	アイシン高丘 グループ	アイシン・ エイ・ダブリュ グループ	アドヴィックス グループ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	257,694	38,190	261,515	120,184	677,585	29,442	707,028
セグメント間の 内部売上高	76,106	23,828	6,593	7,944	114,473	14,919	129,392
計	333,801	62,018	268,109	128,129	792,058	44,361	836,420
セグメント利益	10,836	1,769	20,535	3,672	36,813	1,114	37,928

(注)「その他」の区分には、各報告セグメントに属さない自動車部品事業が含まれています。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	36,813
「その他」の区分の利益	1,114
セグメント間取引消去	459
その他の調整額	110
四半期連結損益計算書の営業利益	38,498

( 1 株当たり情報 )

1 株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 6 月30日)
(1) 1 株当たり四半期純利益	102円84銭	84円53銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(百万円)	28,987	23,851
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	28,987	23,851
普通株式の期中平均株式数(千株)	281,866	282,162
(2) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益	102円58銭	84円33銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(百万円)		
普通株式増加数(千株)	721	664
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

( 重要な後発事象 )

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 8月 6日

アイシン精機株式会社  
取締役会 御 中

### あらた監査法人

指定社員 公認会計士 川 原 光 爵  
業務執行社員

指定社員 公認会計士 手 塚 謙 二  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアイシン精機株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アイシン精機株式会社及び連結子会社の平成26年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。